Date　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　No.

三宅　　第1回 2009.10.18. テキスト 内山〈子ども〉

2025. 3. 16「読書サークル・小平」B 第17回

TV プレバト 特待生
読TV（木・深夜 BS?）

テキスト 三宅香帆 ← 古本屋でバイト修業（前48回，計65回目）

『なぜ働いていると本が読めなくなるのか』（集英社新書，2024.4）!!! ← 「新書大賞 2025」

? ほめられすぎ ?
→ 初出「web」
本屋の点数集めた

① 印象：①タイトル 〜当り前ではないか；仕事8h，眠8h，生活8h → 読む
└ モノ・コトは誰かの働きで成り立っている
② 読む人は読んでいる
③ 反発はないのか。状況〜子どもの貧困 7人に1人（体験ゼロ 10人に1人）
〜ヤングケアラー
④ 提言の「半身社会」は正鵠を射てるか —〈社会観がちがう〉
⑤『労働と本関係の本読み』は大学のレポートの書き方レベル
「評価されている」
⑥ サブカル本？，ビジネス本の範ちゅう ✓
⑦ 若い人ターゲットの本でファンが育っていた
⑧ 本 ✓ 映画・音楽・芝居は？

働き手―もうこのは
それなりに大変！

今読書界でめざすもの ⇒ 向学心を持った読者層の育成

● 三宅の本はとんで読んでいるが[illegible]ナイ
・『それを読むたび思い出す』（青土）
・『人生を狂わす名著50』（ライツ社）
・『読んだふりしたけど ぶっちゃけよく分からん、あの名作小説を面白く読む方法』（笠間書院）
●『女の子の謎を解く』（笠間書院）
このアイドル分析はよろしい!!! → イギリスの1/3は小説の購入を2〜3割（?）におさえている。日本は無自覚！
→ 重複本は問題を生じさせている。
こういう本に抵抗でき

②
① 三宅・リクルート：転職支援× 転職人も×

③ 正しく論じられているか。

● 本から得る「**知識**」とネットの「**情報**」との違いは？
● **自己啓発書**なら読めるのはなぜか？
● 「働いていても**本が読める**」社会とは？
● **働きながら本を読むコツ**をお伝えします
…ほか

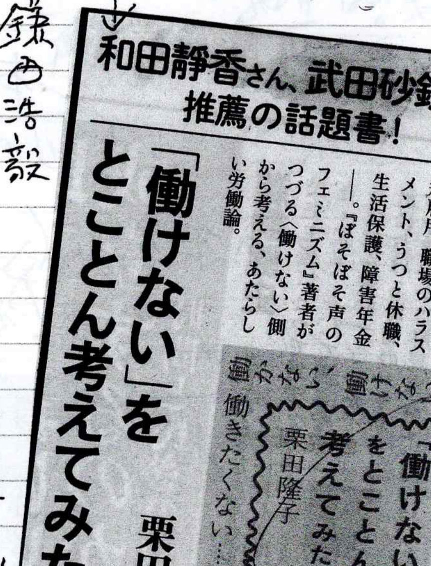
④ 本を読むコツ

鎌田浩毅『理科系の読書術』（中公新書）

④ ② ③ ①
第1章のポイント
・途中で読むのをやめてもいい
・一五分だけ集中して読む
・「2：7：1の法則」で読む
・情報は三つだけ取ればいい

① 本で読んでいる友達を持て（朝2冊）
③ 近くに本を！
④ 書評を読む ②

⑤ ① 大学生の不読53%
教授が恥を知るべきだ
③ 子どもの読書
④ ← 大人が読むを示す。②


「働けない」をとことん考えてみた。
栗田隆子
働きたくない……

和田静香さん、武田砂鉄さん
推薦の話題書！

ロスジェネ世代、非正規雇用、職場のハラスメント、うつと休職、生活保護、障害年金——。『ぼそぼそ声のフェミニズム』著者がつづる〈働けない〉側から考える、あたらしい労働論。

「働けない」をとことん考えてみた。

栗田隆子＝著

定価2090円（10%税込）

平凡社 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-29
TEL 03-3230-6573／FAX 03-3230-6587

?

こんちきのかー

あげるには、高等教育を受ける権利が必要です」「教育を受ける権利が保障されないうちは、声を塞がれていることと同じ」という。

「現代思想」は市川と頭木の対談以外にも、「読むこと」について興味深い論考を掲載している。書評家の三宅香帆は、本を読むことが幼少期の環境や、市川の指摘するような身体の問題に左右されているとして、読書を勧めること自体が、「運のいい人間」による「マッチョ」な行いであるという（❻）。それでも三宅は「人間のつくりだす言葉だけが、私を寂しくさせない」として、言葉を持ち、共有することとの意義を説く。誰もが自分の言葉を持つことを可能にすることは、社会の責務であり、高等教育の課題であろう。

大学は現在、大きな変革期にあ

6P目

三宅

「現代思想」
2014.9.

〈読むということ〉
特集
↓
小平図書館
ハソンしてすてる
準ビ中
とのこと

?

話題の本

毎日 2025 2/22

三宅　香帆

SNS時代の自立とは何か？を問う本である。

批評家の著者が、吉本隆明の思想や國分功一郎の思想、坂口安吾の小説からフランスの庭師ジル・クレマン、そしてブックオフの環境に至るまで、さまざまな例を挙げながら「SNSのプラットフォームによって人間関係の相互評価に常に依存させられる状況から、私たちはどうやって抜け出したらいいのか？」という問いと向き合う。

たしかに本書『庭の話』（宇野常寛著・講談社・3080円）の言う通り、昨今はSNSの影響下から抜け出すことは難しい。XやInstagramをひらけば自分の投稿に「いいね」をどれくらいもらったのか、つい気にしてしまう。あるいはYouTubeやTikTokをひらけば、自分が「いいね」を押した投稿に似た動画が流れてくる。つまりSNSとは、自分と同じ意見をもった誰かを評価する場所、「いいねという評価」がもっとも重要な評価軸になりやすい場である。それは共同体の空気を読んで発言したり、自分が誹謗中傷の波につい便乗したりしてしまう、という危険性をはらむのだ。

ではどうすれば「いいね」が生み出す共同体から、私たちはうまく自立することができるのか。回答として、「SNSよりも、本来はもっと偶然性に満ちた場に自分を連れていくこと」を本書は提案するのだ。つまりそれが、タイトルにもある「庭」である。庭とは、自然と自分が共存する場であり、同時に、自分がなにかをつくりだそうとする場でもある。評価されることを気にしすぎると、自分がつくったものそのものよりも、自分がつくったものへの評価に目が向く。しかし本来は、つくること、つまり制作そのものの喜びを発見するべきではないだろうか？

著者はそう問いかける。

共同体にいながら、それでも誰かの評価に拠り過ぎず、自分だけの「庭」を見つけること。それはSNS時代を生きる私たちにとって、実はもっとも重要な回路だろう。現代の情報環境の問題点を理解するうえで、必読の一冊だ。

（文芸評論家）

三宅〈何かさえぐっては〉

印

Date　No.

①状況　国民の半分が不読
大学生の半分が 〃 （2017年 不読率 53.1%）
大学生協調べ
おどろき！
図書館利用（私も）
↓
半分以下に。

だから時間が主たる問題ではない。
（少子化が貧困が主たる原因でないのと同じ）
だから補助金拡大では解決しない。
スマホが最大の敵
時間もお金も → 酒のむ 2h → 友達は 作らなく
今年もまた「少子化すすむ」

②働く → マルクス『経哲草稿』（1844年 → 1932年刊行された）朝2-3冊読む。（librarianにたまたま）
「本来の労働は疎外ではなく自己実現である」
今は×（自己はすでに存在して自己を生かしてもするのではなく
→ [illegible]

③どれだけの本が~~出版~~書かれたか。（写本もあるから）
世界で 1億2986万4880冊
（モレスキュラー社のホフスター）（AI）
約（1億3000万冊）
└ 橘玲『読~~まない~~まなくてもいい本の読書術』
だから「パフォーマンス指数の向上である」とでも言うべきか。
自分のためにやっては パフォーマンス指数 あがらない

日本：江戸末まで60万冊
：明治以降　？　500万。
明治 → 戦前 100万
① 1万 → 100万冊
② 戦後 1970年～2-3万 → 1980 → 8万　④万
80年　80×4≒320万。
概数　約500万。

刊本の内
8万 → 2万　20%（最大値）
500万×20% = 100万冊。

④よく読む人。村上さん6万、読書家4万。
週2冊
1年間に100冊読む人が読書人と言われている。
100冊×50 = 5,000冊　出口さん（世界史）1万冊。

⑤『世界名著大事典』（平凡社、1960-62）→ 日本編もあり
全8巻（11,000点）収録　2割ぐらい → 2,000冊ぐらいか

Date

⑥ アメリカと日本人の
サラリーマンの差。

海外との差

→

よく読む エリート という相関

⑦ 海外で本は読まれているか。

欧州では読まれているらしい

→ 日本の自治体の3いちに本屋がない

仏のアマゾン対策

本 経産 対応は?

⑧ 次に読みたい本を持つやり

読書をつづけるヒケツ/

①書評を読む → 新聞書評
朝・毎・読で 80 → 100冊

週に100冊

②書評紙
「週刊読書人」「図書新聞」

③新聞書評の今年の収穫
今年の3点、

④みすず「 」

⑤本についての雑誌「本の雑誌」……
廃刊が多くなっている

⑥TVの本番組( )( )
ラジオの 〃 (源一郎!)

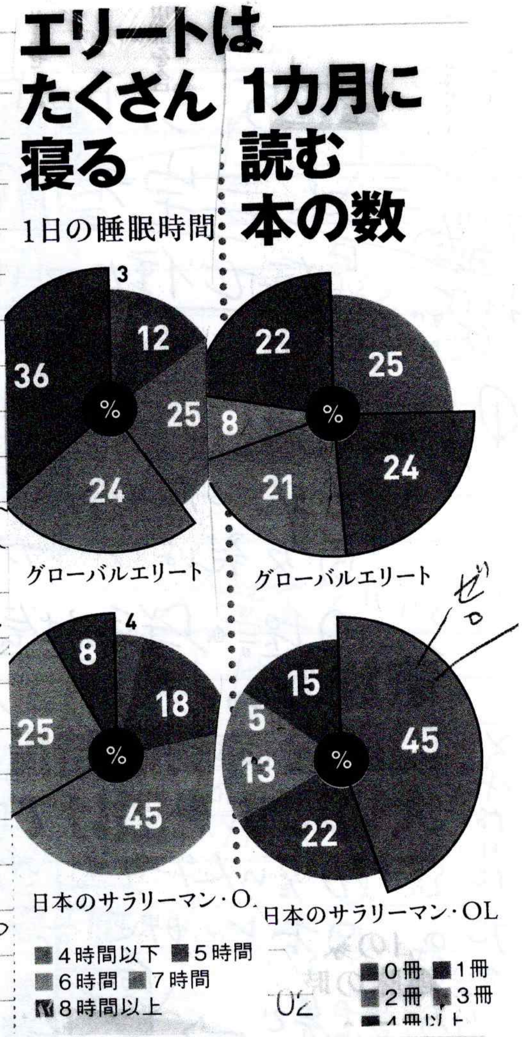
⑦出版社のPR
「ちくま」

本と本とは善き隣人

棚づくり

⑧読む目標
(週に・月に何冊)

⑨注目すべき書評家
①千鶴子
③尚江
③ミナコ



エリートはたくさん寝る
1日の睡眠時間

1カ月に読む本の数

グローバルエリート　グローバルエリート

日本のサラリーマン・O.　日本のサラリーマン・OL

▨ 4時間以下 ▨ 5時間
▨ 6時間 ▨ 7時間
▨ 8時間以上

▨ 0冊 ▨ 1冊
▨ 2冊 ▨ 3冊
▨ 4冊以上

月に2冊。
Ⓖ 50%
日本 30%

「積ん読」は
日本特有の…(コトバ)

出生数最少72万人

2025 2/28

多様化する「官製婚活」の行き着く先は——。2024年の出生数が約72万人と過去最少を記録する中、婚活イベントやマッチングアプリの運営など、いわゆる官製婚活に力を入れる自治体が増えている。こども家庭庁も少子化対策のカギになるとして、こうした取り組みに活用できる交付金の拡
への配慮や費用
見れている。

たとえば今日地方再生が叫ばれているが、第三期の膨大な本が地方を再生させたのはなぜかを読めばそこには大きなヒントが隠されている。無名の読者がなぜこれ程拡大したかといえば、そこにはたとえ程度が高くないとしても、人間の生き方——倫理と教養への希望が働いていたからである。その点で、今日の我々自身の問題をも振り返らせる本。

誰かの寂しさを言葉ですくいあげる

三宅香帆

「現代思想」2014.7 特集〈読むこと〉

良い言葉に出会った時、世界は輝いている！と本気で思う。私にとっては、それにいちばん出会える場所が、本や漫画だっただけである。

読書というものについて書く時、問答無用で本を薦めることはできない。なぜなら本というものはマッチョなものだからである。ということを、私は書評家や評論家として仕事して知ることになった。本は、目を使い、お金を使い、時間を使う。なによりも読書体力とでも言うべき——習慣によって培われた筋肉を使う。たまたま幼少期に本を読む習慣をつけられていたり、性格や資質に合っていたりして、読書に苦がない人生を私は送ってきた。しかしそれは幸運だっただけだ。自分の努力で勝ち得たものではないし、生まれ持った性質と環境に合っていただけなのだ。大人になると、そう痛感する。本を読むといいよ、なんて、他人に言えない。それは身体が健康で、教養を与えられてきた、運のいい人間の言うことだからだ。読書とはマッチョなものだ。バリアフリー化も途上で

漫画を読んでいると、登場人物が思考しているのが分かる。とくに少女漫画は、モノローグという内面で思考する台詞と、他人に語るためにふきだしで伝える台詞が、わかれていた。それは自分自身をとても楽にしてくれた。日常生活のなかで、みんな、モノローグの台詞とふきだしの台詞をもっている。そう理解することは、自分のなかの他人に伝えられない言葉の行き先をうまく掬い上げてくれた。少女漫画の主人公は、他人に言えないさまざまな言葉をもっている。自分の気持ちを表現する言葉をもっていた。それでいいのだと、私は漫画によって学んだ。

小説を読むようになると、さらに自分の内面に言葉を与えられた、という驚きがあった。輪郭ができる。それは言葉だった。自分の感情を言葉にするだけではない。そこには人間を描写する言葉があった。なぜこの人はこういうことを言ったのか、自分にこういうことを言ってきたのか。なぜこの人は自分を愛さず、他人を愛するのか。自分の強さはどこから来て、弱さはどこから来るのか。人間を理解する言葉を、私は本や漫画から与えてもらった。

自分の思っていることや感じていることは人には言えない。だけど、本や漫画になら言える。そう思った。それは現実を乗り越えるための手段だった。明日は休日だからはやく起きなくてもいい夜に、ひとりで、大好きな少女漫画をマネしてノートに絵を描いたり、読んだ本の言葉をマネして日記を書いていたりすると、心が落ち着いた。ずっと、ひとり

2025
3/11

ラピダスに巨費 成算なき危うさ

政府は国策半導体会社ラピダスに巨額の国費を投入できる法改正を閣議決定した。それに対して30年以上、半導体産業を観察してきた機械振興協会の井上弘基特任研究員は危うさを感じている。最先端の微細化半導体を作ること自体を井上氏は「古い発想」と見る。戦術は変わってきているのに大艦巨砲に固執する発想というのだ。

機械振興協会特任研究員

井上弘基氏

いのうえ・こうき　慶応大大学院修了、1991年、機械振興協会経済研究所入所。首席研究員などを経て2023年から特任研究員。66歳。

半導体 微細化よりも集積化を

——ラピダスの最大の不安要因はどこですか。

いざ生産を始めると、億単位の出荷量になるのに、それを購入するお客さんを十分見込めていない点です。いまの先端半導体の用途はスマートフォンかデータセンターのサーバーコンピューター用のチップですが、ラピダスはそういうお客さんをつかまえていない。ラピダスが大量に作るチップをいったい誰がどれほど買いますか?

ＴＳＭＣやサムスン電子はアップルやクアルコム、エヌビディアなど大口客からの発注をあらかじめ見込み、そのうえで顧客と共同歩調をとって先端半導体を開発します。ラピダスとまったくアプローチが違います。

——立派な最新鋭の工場が北海道にできても、そこからできる生産物を買う人がいない?

普通は大口のお客さんをあらかじめ見込み、そこから購買金額と購買量を逆算し、それに必要な設備投資や研究開発の資金を算出しますが、ラピダスはそうなっていない。普通の民間企業がやって失敗するのは自由ですが、政府が兆円単位の税金を投入する場合は、失敗は許されません。特に経済産業省は、大変な責任問題になります。

——ラピダスは2ナノという最先端の半導体を作ろうとしています。

まず私がラピダスに抱いた最初の違和感はそこ。「案外レトロだな」ということ。ラピダスの発想は古いんです。

これまでの半導体の歴史はより小さいものを追い求める微細化の追求の歩みでしたが、これからも微細化が進むと想定すること自体、考えが古い。あと4~5年後には、どんなに工夫しても電子が漏れたり発熱したりして微細化の限界に達すると言われています。微細化を進めた半導体を作れるか作れないかではなくて、仮に作れてもさほど性能が上がらないという問題です。

私は、経産省はＩＣチップを高密度化する集積化技術に重点を置くべきだった、と思っています。この分野は製造装置や材料など日本メーカーが強いので産業政策上、産業育成の効果が見込めます。ラピダスより一けたも二けたも少ない資金で、日本の半導体産業の将来展望が開けた、と考えます。

——なぜ、そうせずにラピダスなのですか。

それは割と単純な理由でしょう。最先端とか、世界初とか、経産省はわかりやすい絵を描きたい。経産省の産業政策には深謀遠慮がなく、浅薄なところがあるんです。

——ラピダスが採用するＩＢＭの半導体技術をどう見ますか。

ＩＢＭはすでに半導体の製造も販売もやっておらず、研究したことを対外的に発表することしか目立つ業績がない。逆に言えば、そうした研究発表で世界中の関連産業をひきつけ、ＩＢＭの技術を使わせることでライセンシング料を得ている、と思います。インテルもＴＳＭＣも自分たちの力で2ナノの最先端の半導体を作ることができます。従ってＩＢＭを全面的に採用するのはラピダスしかないんです。

——うまくいきますか。

リスクが大きい。設備投資が巨額なので、販路が見込めず工場の稼働率が落ちると巨額赤字に陥ります。インテルですらファウンドリー部門の大口客が伸びず、巨額赤字に苦しんでいます。

ラピダスはいったん立ち止まって研究開発のレベルにとどめ、量産に踏み込まないほうがいい。かなりの半導体業界人はラピダスの失敗による反動を恐れています。やっぱり日本は半導体はダメなんだ、と。そう思われるのが非常に怖いんです。

（大鹿靖明）

富士通「新卒一括採用

職務ごとに通年募集

一律の初任給も廃止

富士通は2026年度の新卒採用から、年度ごとに卒業予定の学生を一斉に採用する「新卒一括採用」のしくみをやめる。新卒や中途採用など採用の枠組みに関係なく通年採用を導入する。年度ごとの新卒採用人数の計画もつくらない。事業や働き方の多様化に伴い、新卒でも職務内容ごとに採用するなど新たな採用

の
が、
用
る
者
く
を
や
も
廃止
第で